

各校実施の「いじめに関するアンケート」について

1 アンケートの種類

(1) 教育相談アンケート

教育相談（主に学期ごとに、教員が児童生徒と行う、学校生活全般に関する相談）の前に、いじめに関することを含めた学校生活全般について、児童生徒が自分の様子や他者の様子を回答するアンケート。

(2) (1)以外のアンケート

教育相談の時期以外に、必要に応じて、いじめに特化した内容で実施するアンケート。

2 各学校におけるアンケート実施の現状

(1) 実施頻度（令和3年度実施（予定も含む））

	全体 (53校)		
		うち小学校	うち中学校
3回以下	46校	32校	14校
4回以上	7校	5校	2校

(2) 保護者向けアンケートの有無

	全体 (53校)		
		うち小学校	うち中学校
あり	2校	0校	2校
なし	51校	37校	14校

(3) 回答方法

	全体 (53校)		
		うち小学校	うち中学校
用紙に記載	47校	34校	13校
タブレット端末も可	6校	3校	3校

(4) 回答の記載場所

	全体		
	(53 校)	うち小学校	うち中学校
教室	47 校	36 校	11 校
自宅持ち帰り可	6 校	1 校	5 校

(5) 本人からの訴えによる被害把握の状況

(令和 3 年度 2 学期末時点、疑いを含む)

	全体 (53 校)		
		うち小学校	うち中学校
0 件	26 校 【3 校】	18 校 【2 校】	8 校 【1 校】
1 ～ 10 件	20 校 【48 校】	13 校 【33 校】	7 校 【15 校】
11 ～ 50 件	3 校 【2 校】	3 校 【2 校】	0 校
51 件以上	4 校	4 校	0 校

※ 【 】 令和 2 年度 いじめ認知件数による学校数

(6) 本人以外からの訴えによる被害把握の状況

(令和 3 年度 2 学期末時点、疑いを含む)

	全体		
	(53 校)	うち小学校	うち中学校
0 件	23 校	17 校	6 校
1 ～ 10 件	22 校	14 校	8 校
11 ～ 50 件	6 校	5 校	1 校
51 件以上	2 校	2 校	0 校

3 アンケートによるいじめ把握件数が多い学校の実施方法の工夫

アンケートによるいじめ把握の割合（児童生徒数当たり）が多い学校については、アンケート実施方法に工夫がみられる可能性があるため、次のとおり、実施状況について確認した。

(1) 対象校

小学校 5 校、中学校 2 校の計 7 校

(2) 確認内容の概要

A 小	アンケート実施時、「いじわる・いじめをされたことがある」の設問に対し、嫌な気持ちになった等、小さなことでも積極的に記載するよう促している。
B 小	アンケート実施時、嫌な気持ちになった等、小さなことでも積極的に記載するよう、特に低学年には丁寧な促している。
C 小	設問を「いじめられたことの有無」「いじめを見たことの有無」のみとし、時期、該当者や内容等の詳細を記載させないことで「あり」と記載しやすくしている。
D 小	設問を「いじめを見たことの有無」のみとし、時期、該当者や内容等の詳細を記載させないことで「あり」と記載しやすくするとともに、アンケート実施時、辛そうなど気になる子がいれば「あり」と記載するよう促している。
E 小	いじめに関する設問以外で、困っていることの記載があった場合は、いじめが疑われないかを各教員が意識するように教頭が指導している。
F 中	教育相談を実施する月(6,10,1 月)以外に、教育相談アンケートとは内容が異なる学校生活アンケートを実施(5,9,12, 2 月)し、生徒の状況を適宜把握している。
G 中	他の設問にまぎれないように、いじめに関する設問を作成することで、自分以外のいじめを見たと回答する生徒が多くあった。